

一級櫛田川水系

# 唐谷川溪流再生事業



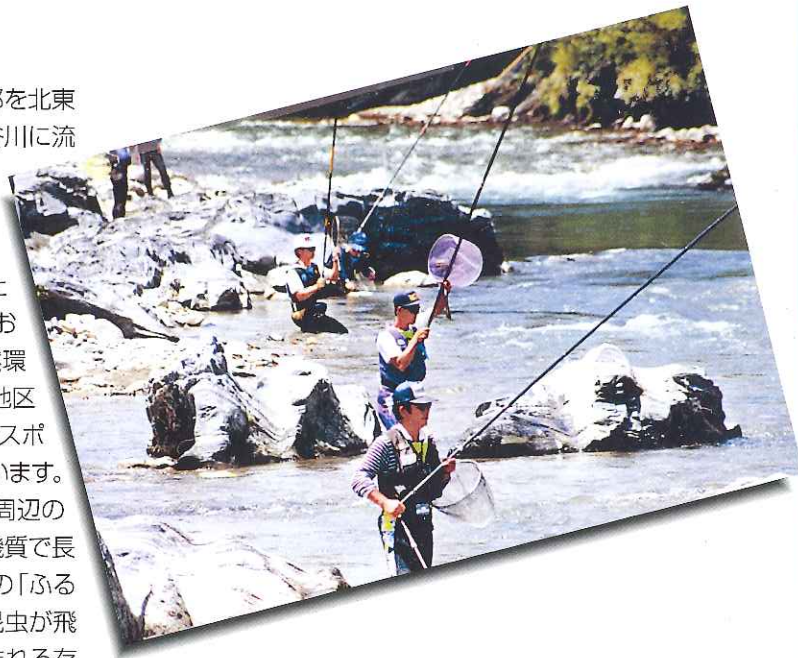
## 唐谷川の現況と課題

唐谷川は、迷岳を源流とし、三重県飯高町南部を北東に流れ、一級河川櫛田川水系の支流である中谷川に流入する砂防指定河川です。

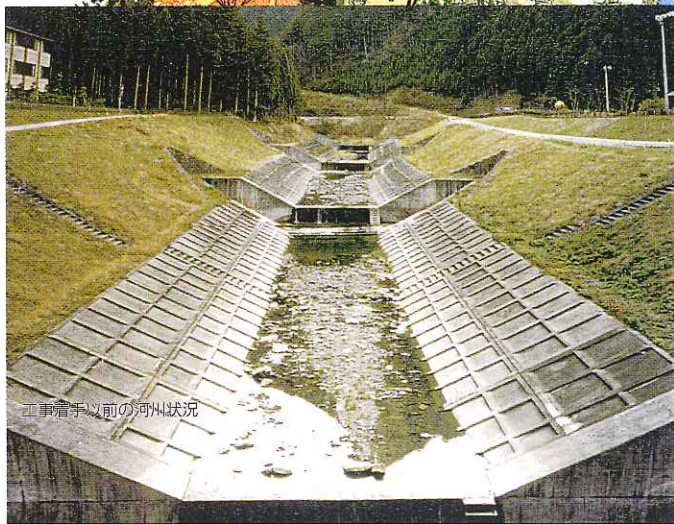
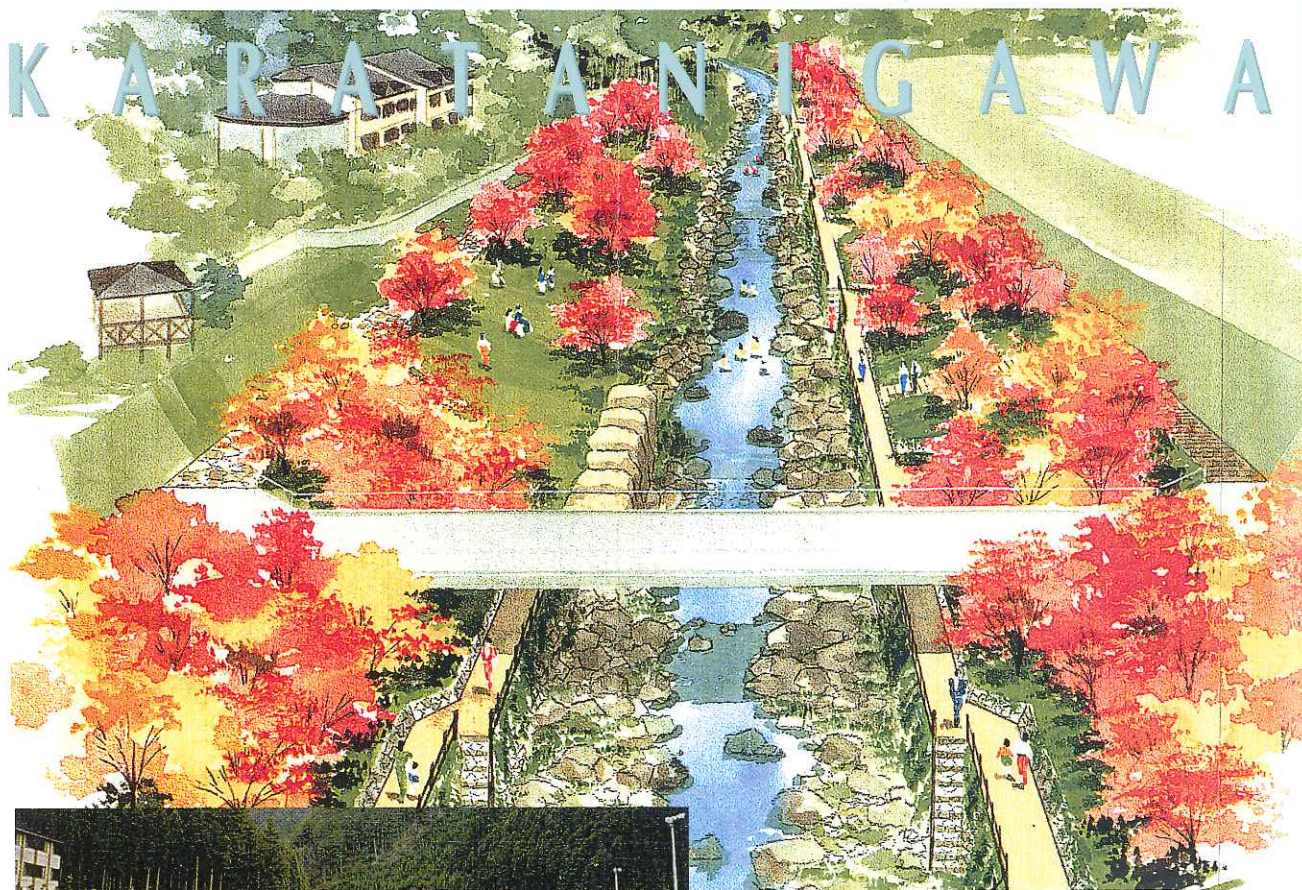
現在、ダム工1基、流路工が400m整備されています。

当地区は、平成6年3月に基本計画が承認された津・松阪地方拠点都市整備地域に組み込まれており、「奥香肌峡健康の森地区」が「恵まれた自然環境を活かした交流と憩いの場を創出」する拠点地区として位置づけられており、現在、宿泊施設やスポーツレクリエーションの施設等の整備が進んでいます。このことから、現況のコンクリート護岸工が周辺の環境と比較して溪流の環境が著しく劣り、無機質で長大なコンクリート水路となっており、かつての「ふるさとの川」のような木が茂り、小魚がはね、昆虫が飛び交う川のイメージは失われ、住民からも疎まれる存在となっています。

こうした状況の中で、景観や親水性の向上、生態系の回復を図り、周辺の地域環境にふさわしい良好な溪流環境の整備が課題となっています。



唐谷川砂防流路工のイメージスケッチ



工事着手以前の河川状況

### 現況について

- ◆法面が長く目立ちすぎ、植生が繁雑な印象を与えています。
- ◆施設がコンクリートのため固く冷たい印象を受け、周囲の景観と調和していません。
- ◆水際線が直線であるため人工的な印象を与えています。

## 床固工の設計方針

### ①擬岩を用い、自然に近い溪流らしさを演出します。

擬岩は本計画地周辺の自然石をモデルとし、周辺の自然条件と違和感のない景観形成を目指します。

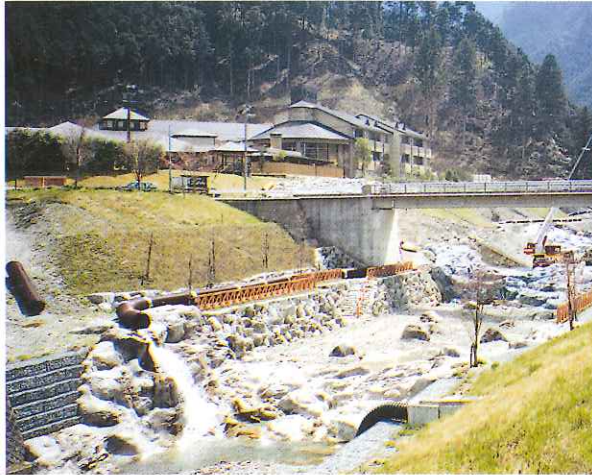
また、大きな岩が昔から立地していたかのような、景観上、調和のとれた形で擬岩を配置し、擬岩と護岸の素材は明確な縁切りを行わず、整合は徐々に素材が移り変わるような形とします。

### ②親水性の確保を行う

利用者の水とのふれあいの場を確保するため、流路工の緩傾斜化、親水利用ゾーンの床固においては擬岩を利用した階段を設置し、スムーズな移動を図ります。

### ③魚の移動を確保する緩傾斜化

当溪流等に生息するアユ、アマゴ等の移動を確保するため、擬岩に魚道に近い形状の階段を設置します。

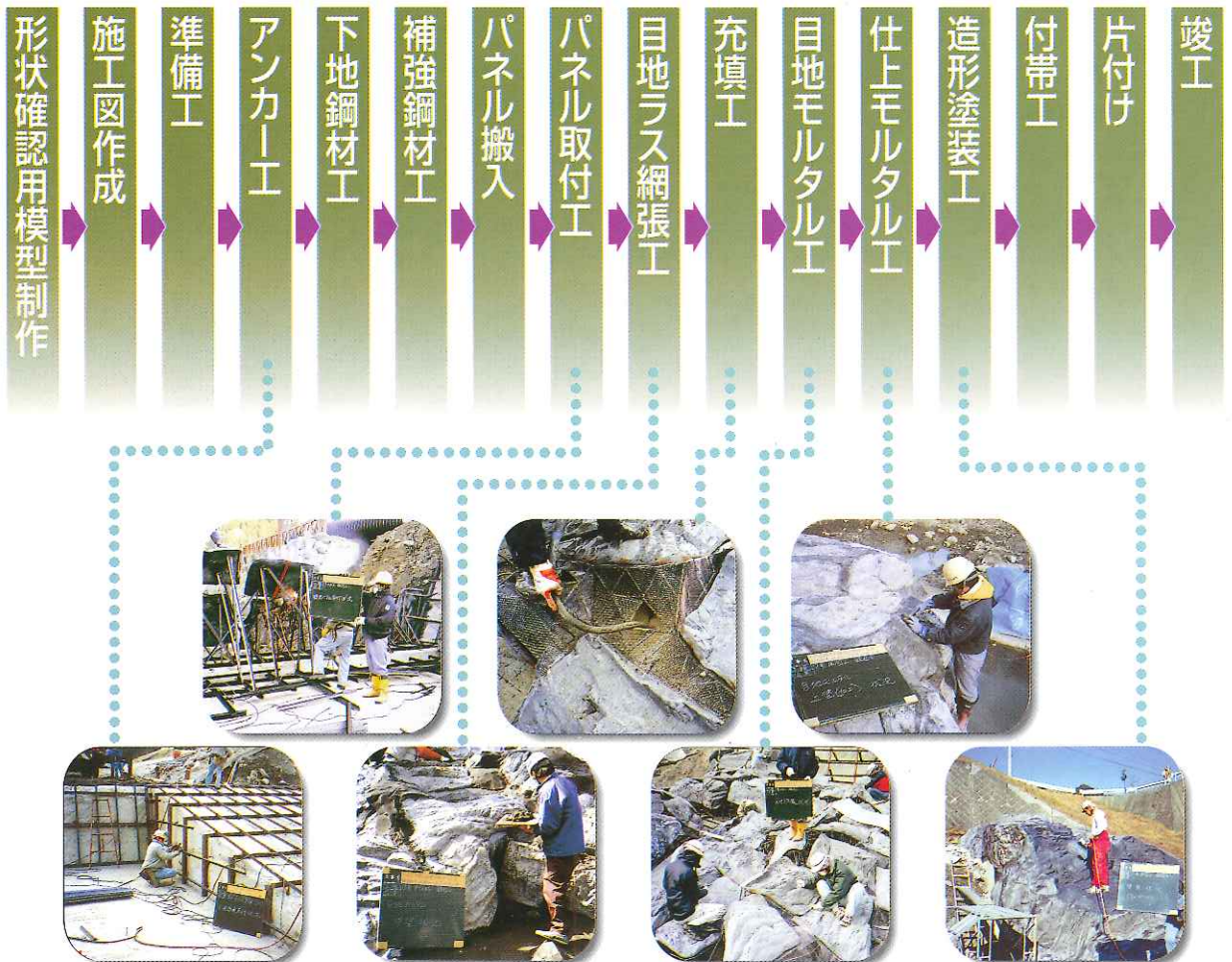


本川合流点から上流を望む



床固工の施工状況

## 擬岩工の施工手順



## 溪流整備方針

本計画は一般の「河川空間」としてとられるのではなく、「唐谷川を軸として構成されるレクリエーション空間」とした空間づくりを図り、飯高町民に親しみをもたれる施設づくりを行います。

このため、基本方針については下記のとおりです。

### ① 溪流の復活

唐谷川の河川景観を一体的なものにするため、溪流の再生を前提とした河川空間づくりを行います。

### ② 利用空間の確保

現況の護岸は無機質なコンクリート護岸であり、水とのふれあいの場が確保出来ないことから、人々が利用しやすい場の復活を目指します。

### ③ 飯高町のシンボル空間とふる川づくり

観光拠点である計画地は「ホテル・スモール」が立地しており、河川景観としての美しさだけでなく、飯高町のシンボルとしての修景、演出を考慮します。



波瀬ゆり

整備方針をもとに下記のようにゾーニングを計画しました。

### [親水利用ゾーン]

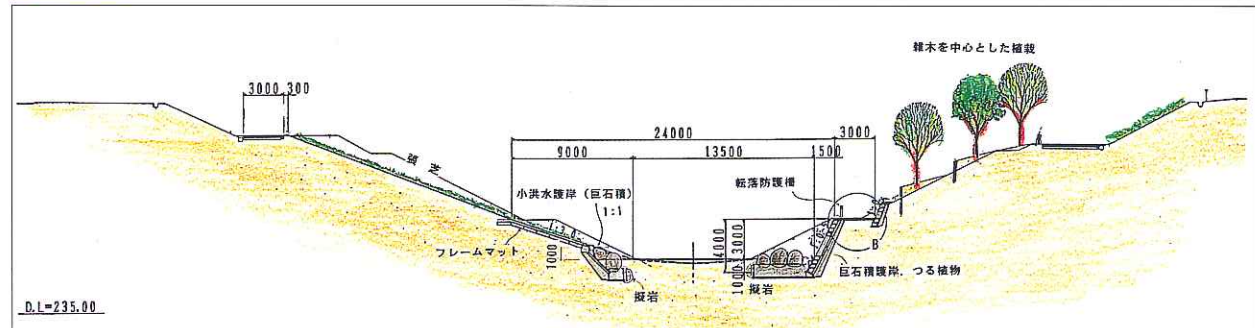
解放的な親水空間の創出をするため、河床は自然な状態に復元することを前提に、広く水辺空間の確保を図ることとしています。また、植栽においても疎らなものとし、開放的な空間となるようにします。

### [修景ゾーン]

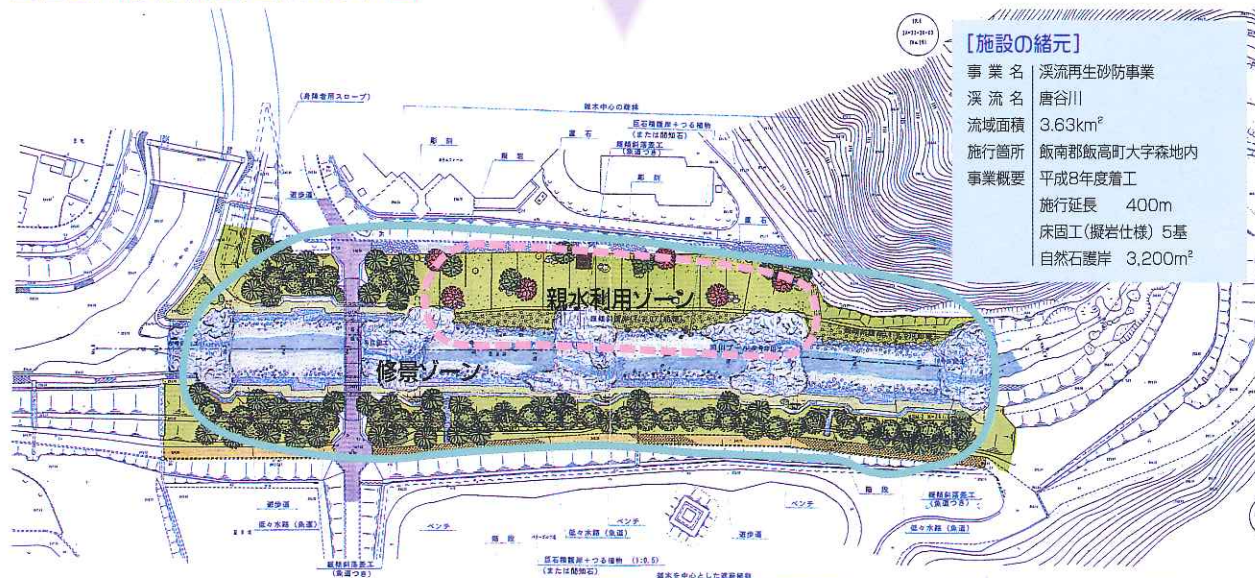
修景ゾーンは、親水利用ゾーンの明るさと解放性を強調するために、濃い緑で囲むこととしています。さらに、利用者の親水利用ゾーンへの誘導もスムーズになるよう意図しています。



## 断面図



## 唐谷川砂防流路工計画平面図



# 飯高町による 周辺の整備施設



## ホテルスメールは香肌峡の豊かな自然を堪能できる飯高町の一だレジャー拠点



●ホテル スメール



●ローラーリュージュ



●飯高洞窟美術館



●バターゴルフ場

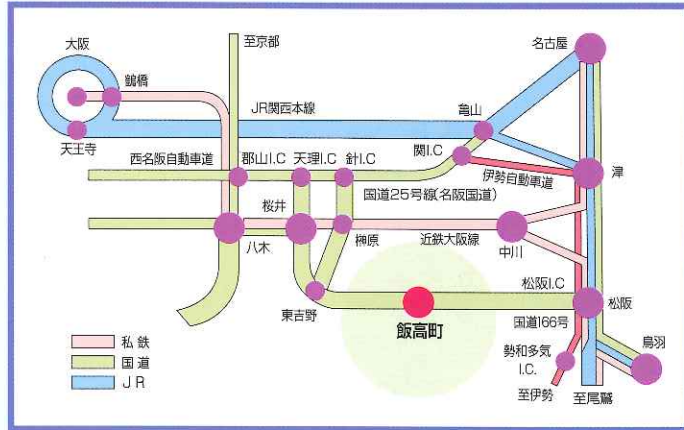


●ファンシーサイクル

# A C C E S S S



三峰山八丁平の樹氷



泰運寺のしゃくなげ



蓮ダム湖

三重県の中中部、飯南郡の西に位置する飯高町は、三方を1,000m級の山に囲まれた緑豊かな町。町全体が香肌峡県立自然公園という美しい自然が自慢です。町を縦走している国道166号は、江戸時代には伊勢神宮と大阪を結んだ和歌山街道で、街道筋の宿場町として栄えた歴史もあります。飯高町へのアクセスは、車では伊勢自動車道「松阪I.C.」または西名阪自動車道「郡山I.C.」から桜井市を経て、国道166号経由、また「針I.C.」からもお越しいただけます。鉄道・バスではJR線・近鉄線「松阪駅」から三重交通バス波瀬方面行きに乗り換えます。



奥香肌峡の紅葉



お問い合わせは

**三重県砂防課**  
 〒514-8570 津市広明町13 TEL059-224-2697

**松阪地方県民局建設部**  
 〒515-0011 松阪市高町138 TEL0598-50-0584